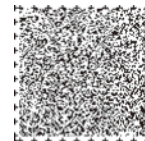


社会福祉法人 創文会
相談支援事業所 ハートピア出雲 情報誌「トピア」



Topia

第50号



<発行所>
相談支援事業所
ハートピア出雲

〒693-0014
出雲市武志町 693-6
Tel: 0853-2 3-2 7 2 0
Fax: 0853-2 3-2 7 2 1
E-mail shien@heartpia.or.jp
ホームページ
<http://www.heartpia.or.jp>

「ママは身長100cm」に込めた想い

～2万人に1人の難病の女性が初出版～

全身の骨が脆い先天性骨形成不全症でありながらパワフルに生きる女性、伊是名夏子さん（神奈川県在住）。これまで幼少期から何度も骨折を繰り返しその度に入院、手術を幾度も経験。にも関わらず、持ち前のど根性！？パワーでいつも笑顔で周囲に接してこられ結婚、出産を経て只今2人の子育てに奮闘中。伊是名さんがある週刊誌に載ったのを目にしたことをきっかけに、同じ障害を持つ私はコンタクトをとってみました。メールでのやりとりですが、とても気さくに応じていただきました。そんなある日、「ママは身長100cm」という本を初出版された著者から本に込めたメッセージなどを頂きましたのでご紹介いたします。（ワークセンターフロンティア利用者 米山修二）



●長女、長男、ヘルパーさんと一緒に写る伊是名さん（写真左端）

普通に過ごしていて、楽しいことも、苦しいこともある。それを今まで、興味がなかった人に伝えたい。

車椅子ユーザーのことを、障害のある人の生活ことを、まわりに知ってもらうにはどうしたらいいんだろう。同情とかではなく、普通に過ごしていて、楽しいことも、苦しいこともある。それを今まで、そんなことに興味がなかった人に伝えたい。そして繋がって、助け合いたい、私はそう思ってきました。

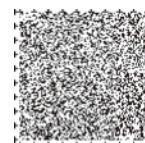
子育てを通して、私は一気に新しい友だち、ママ友が増えました。今まで、障害者にふれあう機会があまりなかったのかもしれない、最初はぎこちなかったママパパとも、子どもを通して、だんだんと普通に会話できるようになりました。それがとても新鮮で嬉しかったです。これは新たな人とつながるチャンスかもしれない！子育てを切り口にして、本にしたいと思うようになりました。

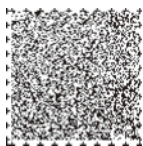
子育てや、私の障害のことだけでなく、体を大事にす

2ページにつづく

もくじ

- 骨形成不全症の女性初出版の想い・・・・・・・・・・1 p～2 p
- ボッチャ交流会の報告・・・・・・・・・・2 p
- めざせ！女子力アップ～阿立涼菜さん～・・・・・・・・3 p
- 虐待防止のコーナー＆新人紹介・・・・・・・・4 p





るための性教育や、恋愛や結婚、妊娠、自分らしく生きる夫婦別姓、についても書きました。

また総勢10人のヘルパーさん、近所の方々や、ファミリーサポート、ボランティアさんなど、たくさんの人が出入りし、助け合う我が家の子育て。たくさんの人がいるということは、もちろんトラブルもたくさん起きるけれど、人の数だけのやり方や情報が集まってきて、いろいろな流れが起きる我が家です。そんな子育てのカタチを紹介したいと思いました。

いろいろ人が読みやすいように、全ページカラーにし、写真をたくさん使ったコラムのページを織り込みました。また小学校高学年以上の漢字には読み仮名をつけました。

その甲斐あってか、本屋では、福祉コーナーだけでなく、子育て、女性エッセイ、時にはタレントコーナーに並ぶまでに。なぜかアマゾンの恋愛ランキングではトップにもなりました。

一人でも多くの人、特に今まで障害者に関心がなかった人にも手にとっていただけると嬉しいです。そしていろいろな生きづらさを抱える人たちと、繋がって行きたいです。(文：コラムニスト 伊是名夏子)

★ 僕のスーパーショット! ★

～8月12日(月)に松江市総合体育館でボッチャの交流会に参加しました～



●チームを見事逆転勝利へと導いた
佐貫さんのスーパーショット

1回戦は、僕たちのチーム『ヤチツボ』と『まめなチーム』の試合でした。

『まめなチーム』はコントロールが上手で僕もびっくりしました。でも、僕たちの『ヤチツボ』もチームワークがよく、1エンド目は勝てましたが、2エンド目に負けたのがくやしかったです。結果、合計得点で負けてしまいました。

2回戦目は『SO島根チームE』との試合でした。1エンド目、2エンド目とも引き分けだった為、タイブレイクになりました。僕たちのチームも良いショットを投げていましたが、相手チームも負けじと良いショットを連発され、負けてしまいました。

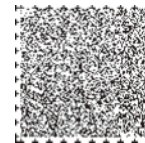
3回戦は、『SO島根チームB』との試合でした。この試合はなんとしても勝ちたいという思いが強く、チームみんなで励まし合いながら試合にのぞみました。1エンド目は僕たちのチームが不利な状況でした。残りの玉数が後1球になり、このままでは負けてしまうというところで、僕が投げる番でした。とても緊張していましたが、練習どおりに投げれば大丈夫だと思いながら投げました。僕の投げたボールはジャックボール(白いボール)に吸い寄せられるように転がって行き、ピッタリとジャックボールに寄せる事ができ、見事逆転する事が出来ました。2エンド目もみんなのチームワークで得点を重ね、この交流会で初勝利をする事が出来ました。この交流会を通して僕が感じた事は、他のチームの方々と比べ、僕たちももっとボッチャの練習を頑張らないといけないと感じました。

これからもハートピア出雲でもっとボッチャの練習を頑張って、ボッチャの大会で優勝出来るように頑張っていきます。(ハートピア出雲利用者 佐貫伸次)



わたしの仕事 その9 ～めざせ!女子力UP～

“いろいろなことにチャレンジしたい” 阿立涼菜さん



私は、この春、出雲養護学校高等部を卒業し、4月からワークセンターフロンティ어의就労移行支援を利用しています。

就職に役立つように、ワードやエクセルの学習をしたり、フォトショップやイラストレーター等のソフトを使って、イラストやデザインを作成したりしています。

8月には、2つのイベントに参加しました。



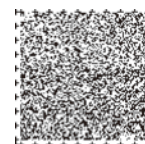
1つは、ハートピア出雲の職員さんと一緒に参加した24時間テレビのチャリティー募金活動です。ラピタの西側出入口で行いましたが、最初はかなり緊張して、なかなか声が出ませんでした。自分1人で声を出すのは難しかったので、他のスタッフさんたちと声を合わせて呼びかけをするようにしました。正面出入口よりお客様の出入りが少なかったみたいですが、多くの方が進んで募金して下さいました。その中で「51回」と書かれた募金箱を持って来られた女性がいらっしゃいました。24時間テレビが始まって以来、毎年募金されているようで、『来年分!』とテーブルに置いてあった新品の募金箱を、にっこり笑いながら受け取って行かれました。1日中、立ちっぱなしで疲れましたが、お客様に元気づけられて、頑張ることができました。来年は、私も募金をしに出かけようと思います。

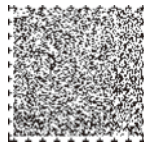
もう一つは、イオンモールで行った販売会です。いろいろな人たちに、福祉事業所の活動を知ってもらうために企画されたイベントで市内の7事業所が集まって行いました。フロンティ어は、イラストやデザインが得意な利用者さんたちが作成したメッセージカードやポストカード等を販売しました。今回は新商品として、利用者さんや職員さんが飼われているペットの犬猫の画像を加工して、キーホルダーやカード、クリアファイルも制作・販売しました。私は猫のデザイン担当でしたが、初めて挑戦した切り抜き加工が難しく、職員さんに教えてもらいながら、何とか完成しました。頑張って作った商品を、「可愛い!」「これください」と手に取ってもらえるのが、とても嬉しかったです。

苦手なこともたくさんありますが、いろいろチャレンジして、

できることを
を少しずつ
増やしてい
けたらいい

なと思います。(文:ワークセンター
フロンティ어利用者 阿立涼菜)





虐待防止のコーナー

その1 こんなことは障がい者虐待になります。

見逃しがちな虐待に「経済的虐待」があります。経済的虐待とは、本人の同意なしに財産や年金、賃金を勝手に使うこと。金銭の使用を制限すること。例えば、年金や給料を渡さない、勝手に預貯金を使う、日常生活に必要なお金を渡さないなどです。

その2

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？



【子どもについて】

- ◆いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ◆不自然な傷や打撲のあとがある
- ◆衣類や身体がいつも汚れている
- ◆落ち着きがなく乱暴である
- ◆表情が乏しい、活気がない
- ◆夜遅くまで一人で家の外にいる

【保護者について】

- ◆地域などと交流が少なく孤立している
- ◆小さい子どもを家に置いたまま外出している
- ◆子育てに関して拒否的・無関心である／強い不安や悩みを抱えている
- ◆子どもの怪我について不自然な説明をする

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。



お住まいの地域の児童相談所につながります。

※一部のIP電話からはつながりません。※通話料がかかります。

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、
児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。



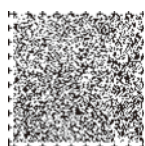
※11月は児童虐待防止推進月間です。厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施します。(厚生労働省ウェブサイトより抜粋)



大國貴之

よろしくお願いします！～新人職員の紹介～

8月からハートピア出雲ステップに勤務しております、放課後等デイサービス児童指導員の大國貴之と申します。子どもたちにとって楽しく安心できる場所になるよう支えていきたいと思っております。よろしくお願いします。



編集後記

◆ 先日、「ルパン三世」のメインキャラのひとり峰不二子の魅力を徹底的に調べ上げるマニアックなテレビ番組が放送。面白かったのが、原作者モンキー・パンチさんの連載当時の漫画原稿を見ると不二子の顔の描き方がお話によってバラバラで別人に見えてしまうところ。あと名前の付け方も、たまたま作者の仕事場の目の前にあったカレンダーが「霊峰富士」で、そこから着想を得て峰不二子にしたという。ということはカレンダーが「比叡山」だったら日榮^{ひえい}やマ子になっていた！？いや、しっくりこない(笑)【編集長 米山】